

## 建物躯体工事を施工しています。



冬期間での施工とした校舎棟の基礎工事は、当初の予定よりも早く埋戻しの作業まで終了しました。施工部位が基礎から躯体となり、主に使用する機械も重機から移動式クレーンへと変わっています。

移動式クレーンを用いて作業を行うときは、作業や転倒防止の方法、労働者の配置や指揮の系統を定めて、作業開始前に関係労働者へ周知します。

当作業所では移動式クレーン作業計画書を各作業ごとに作成し、打合せや作業間調整を行って安全に作業を進めています。

## 作業環境測定と 表示器の設置

現場事務所前の朝礼広場に、環境測定表示器を設置しています。

測定項目は、気温・湿度・振動・騒音・風速とありますが、気温・湿度は、熱中症等の対策として、日常の体調管理の目安となります。また、振動・騒音・風速は、近隣環境への影響の管理と、重機・クレーン作業における作業適否の判断基準としています。

それぞれの項目ごとに数値が表示されるほか、設定した基準値に応じて回転灯が作動することで、現場の作業員に注意喚起をします。

これからの季節や作業内容では、大変活躍します。



## まめ知識： 「働き方が変わります」

2019年4月1日から、働き方改革関連法が順次施行されます。その内容は、時間外労働の上限規制や年次有給休暇の確実な取得、不合理な待遇差の禁止についてです。

特に年次有給休暇は、毎年5日の取得が必要であり、チームでの効率的な業務の遂行などの、休みやすい職場環境づくりも重要となります。

## 【現場のスタッフ紹介】

施工管理：菅原 潤一（すがわら じゅんいち）

## 「確かな施工で高品質な建物を」

年齢：43歳  
所属会社：丸山建設(株)

ひと言：  
「優れた出来ばえの建物となるよう、躯体の品質管理を徹底します。」

